

中米の風土病＜シャーガス病＞との闘いと 青年海外協力隊



協力隊員は現場で何を見て、どう行動したのか？

JICA研究所・地球ひろば共催セミナー
2013年4月11日

中米におけるシャーガス病と その対策、日本の協力

JICA中米シャーガス病対策
広域アドバイザー

橋本謙



目次

1. シャーガス病
2. シャーガス病の対策
3. 日本の協力



1. シャーガス病



症状

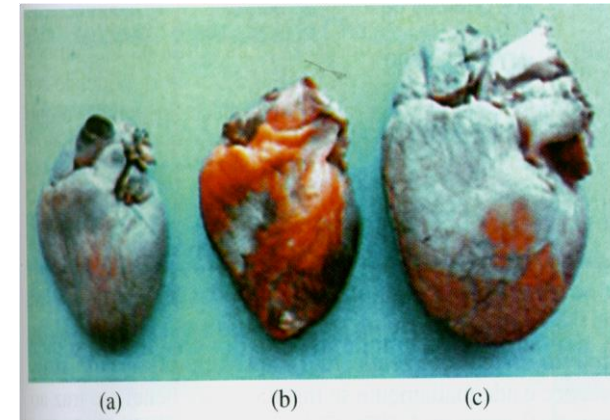
- 急性期

- 潜伏期1～2週間
- 急性期6～8週間：発熱、局所リンパ節腫大、吸血部やまぶたの腫れ等
- 発症率<5%



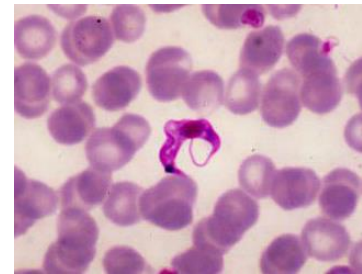
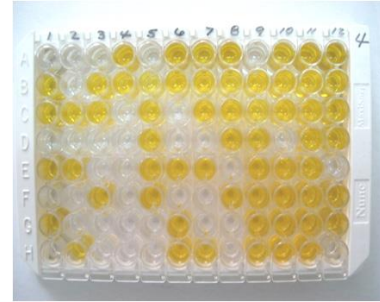
- 慢性期

- 約5～20年後に、心筋症あるいは巨大消化管症（巨大食道・巨大結腸）
- 発症率30-40%



診断・治療

- 血清検査法
 - 採血して抗体を探す (ELIZA, IFIなど)
- 原虫検査法
 - 採血して原虫を探す (Strout、ギムザ染色など)
- 治療
 - 特に急性期に有効 (Nifurtimox, Benznidazole)

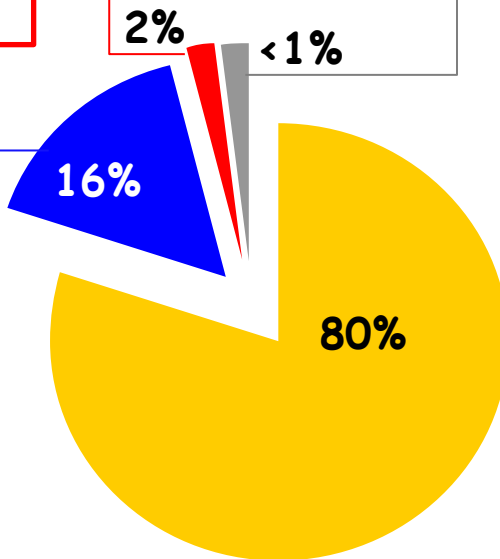


感染経路



その他

- 経口
- 臓器移植
- ラボでの事故など.



シャーガス病感染者の分布

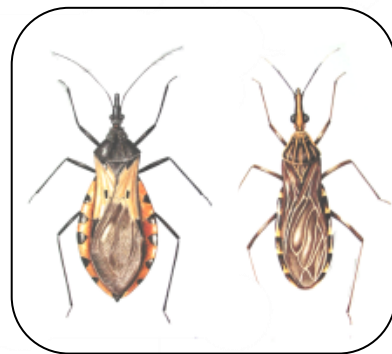
2006-2009年の推定
患者数:8-9百万人



シャーガス病の主要因

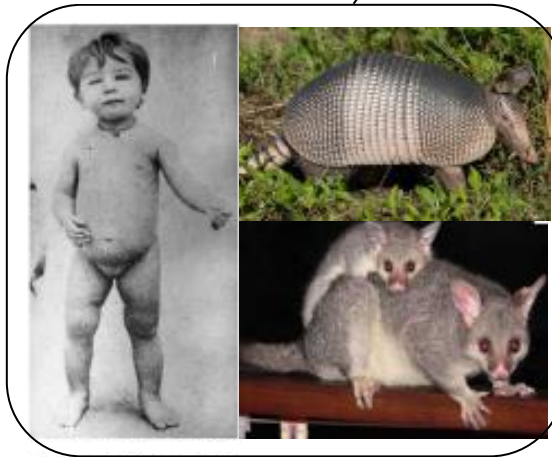


病因



媒介虫

宿主



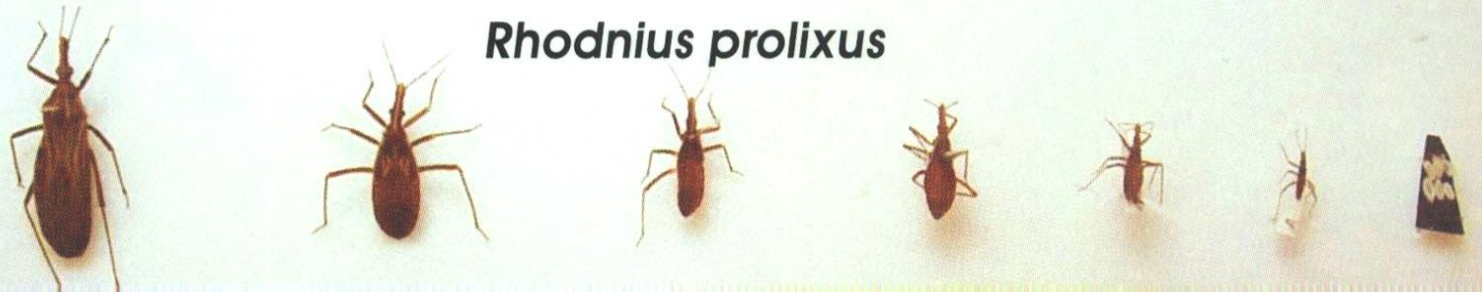
環境



Triatoma dimidiata



Rhodnius prolixus



中米4カ国のシャーガス病

	グアテマラ	エルサルバドル	ホンジュラス	ニカラグア
人口	12,599,000	6,881,000	7,205,000	5,142,200
感染リスク地域に住む人口	2,100,000	2,700,000	3,513,400	1,285,500
推定患者数	250,000	232,000	220,000	58,600
媒介虫による年間新規感染者数	2,200	2,500	2,800	750

2. シャーガス病の対策

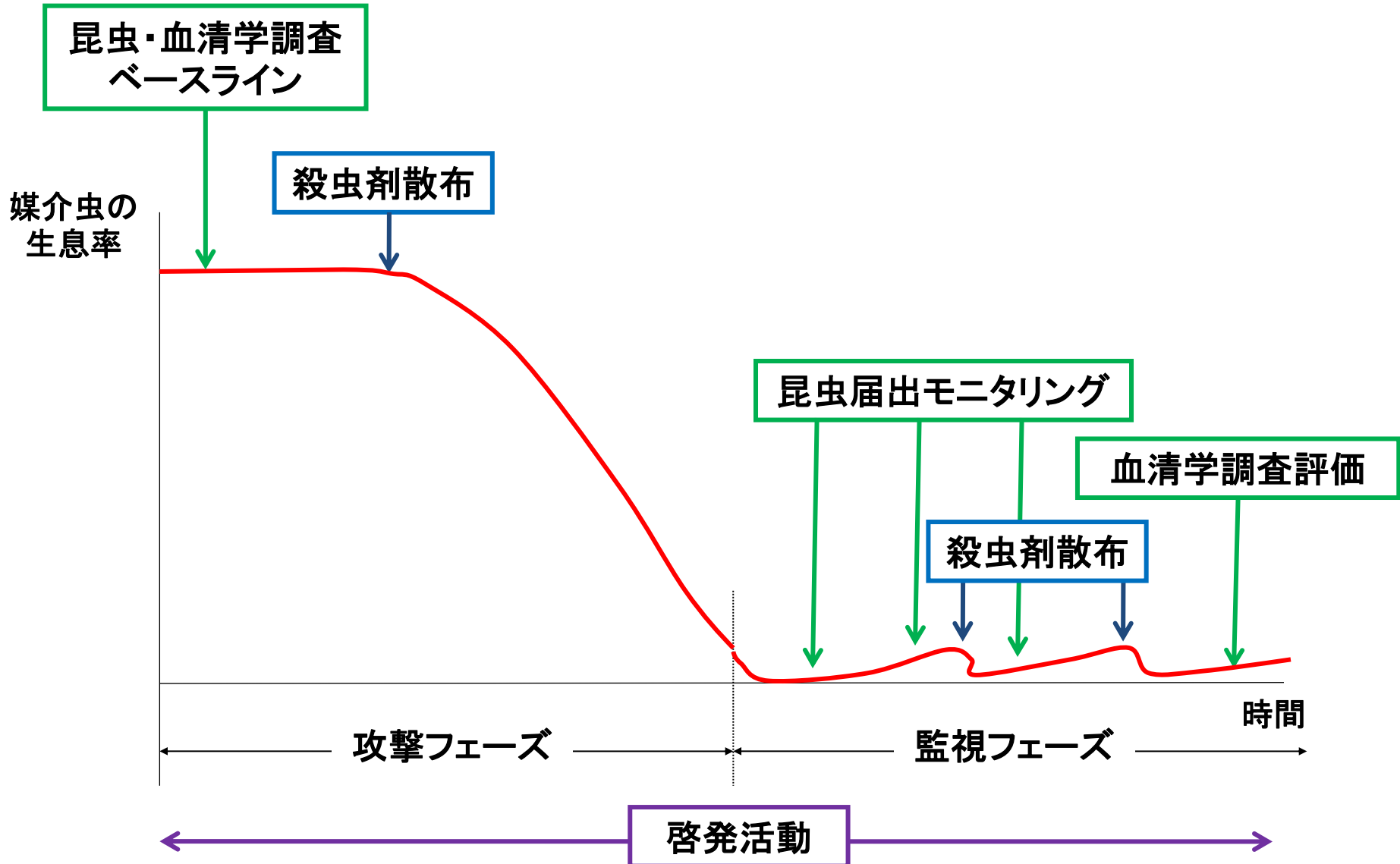
サシガメ駆除



輸血用血液のスクリーニング



媒介虫対策の戦略

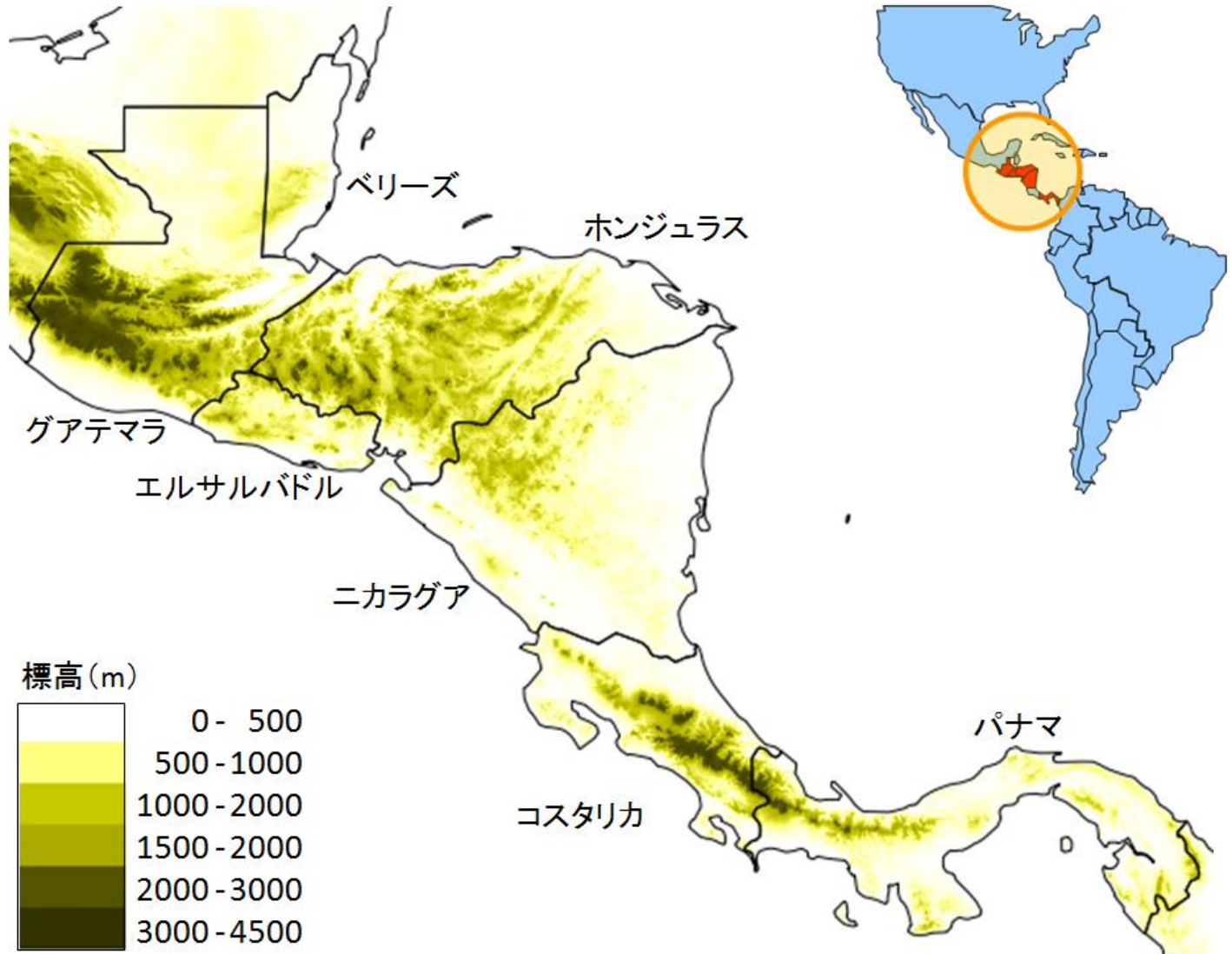




予防策

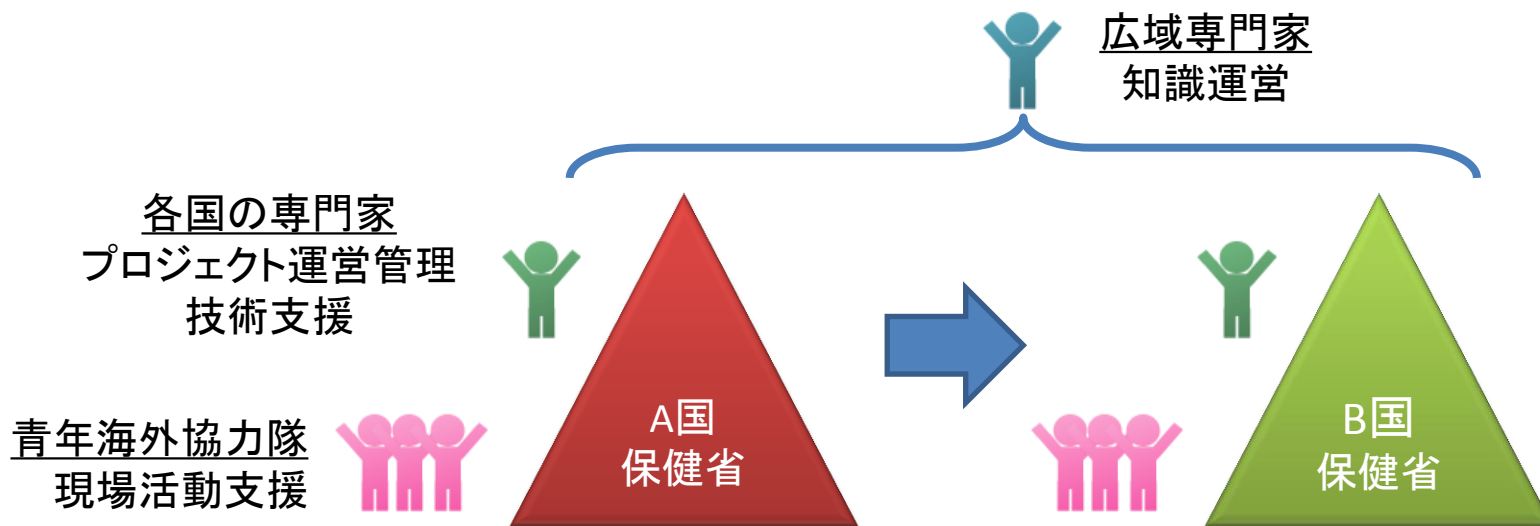


3. 日本の協力



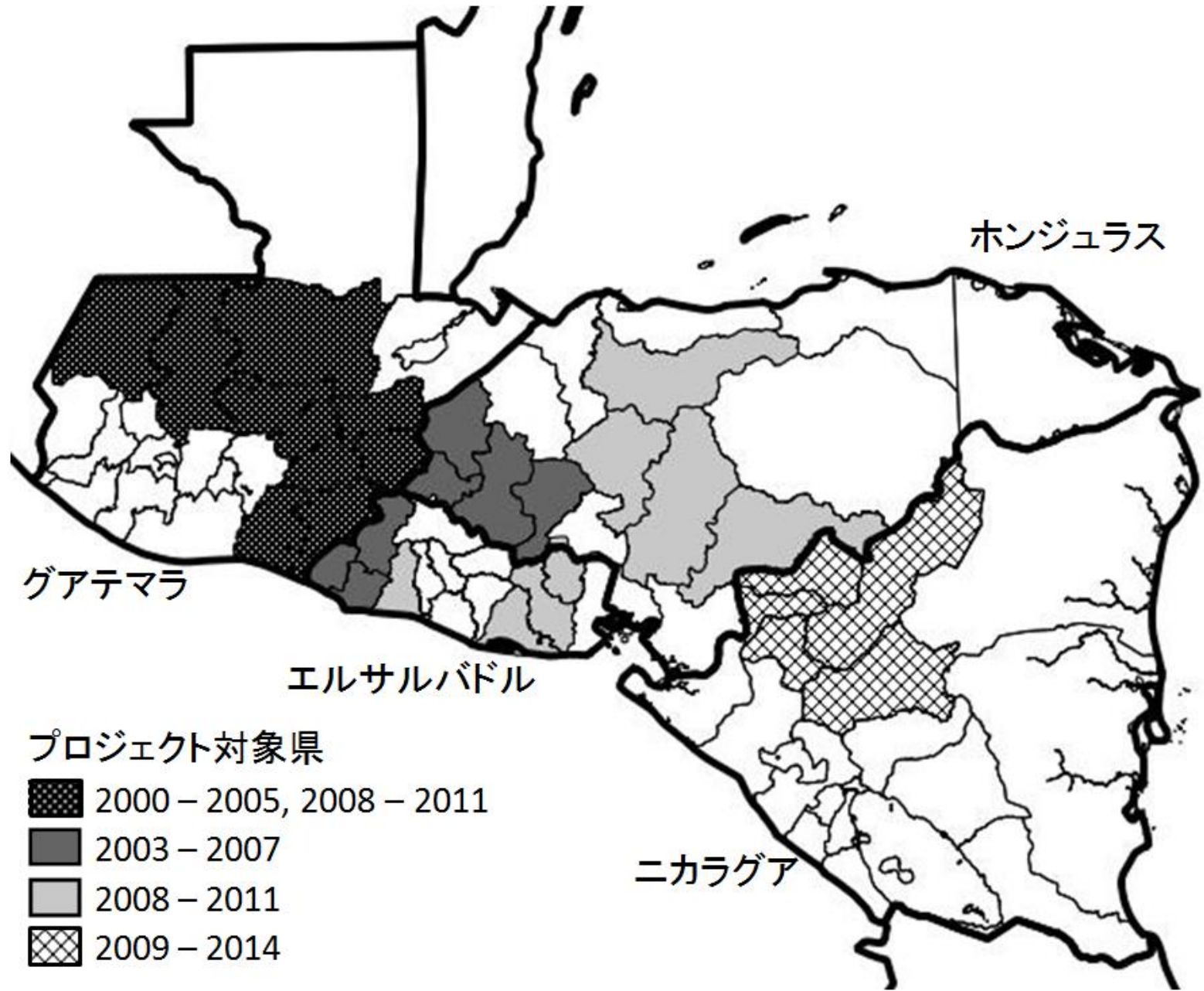
JICAプロジェクト 2000-2014

	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
グアテマラ	攻撃フェーズ									監視フェーズ					
ホンジュラス				攻撃フェーズ					監視フェーズ						
エルサルバドル				攻撃フェーズ					監視フェーズ						
ニカラグア										攻撃・監視フェーズ					
中米広域					知識運営									知識運営	

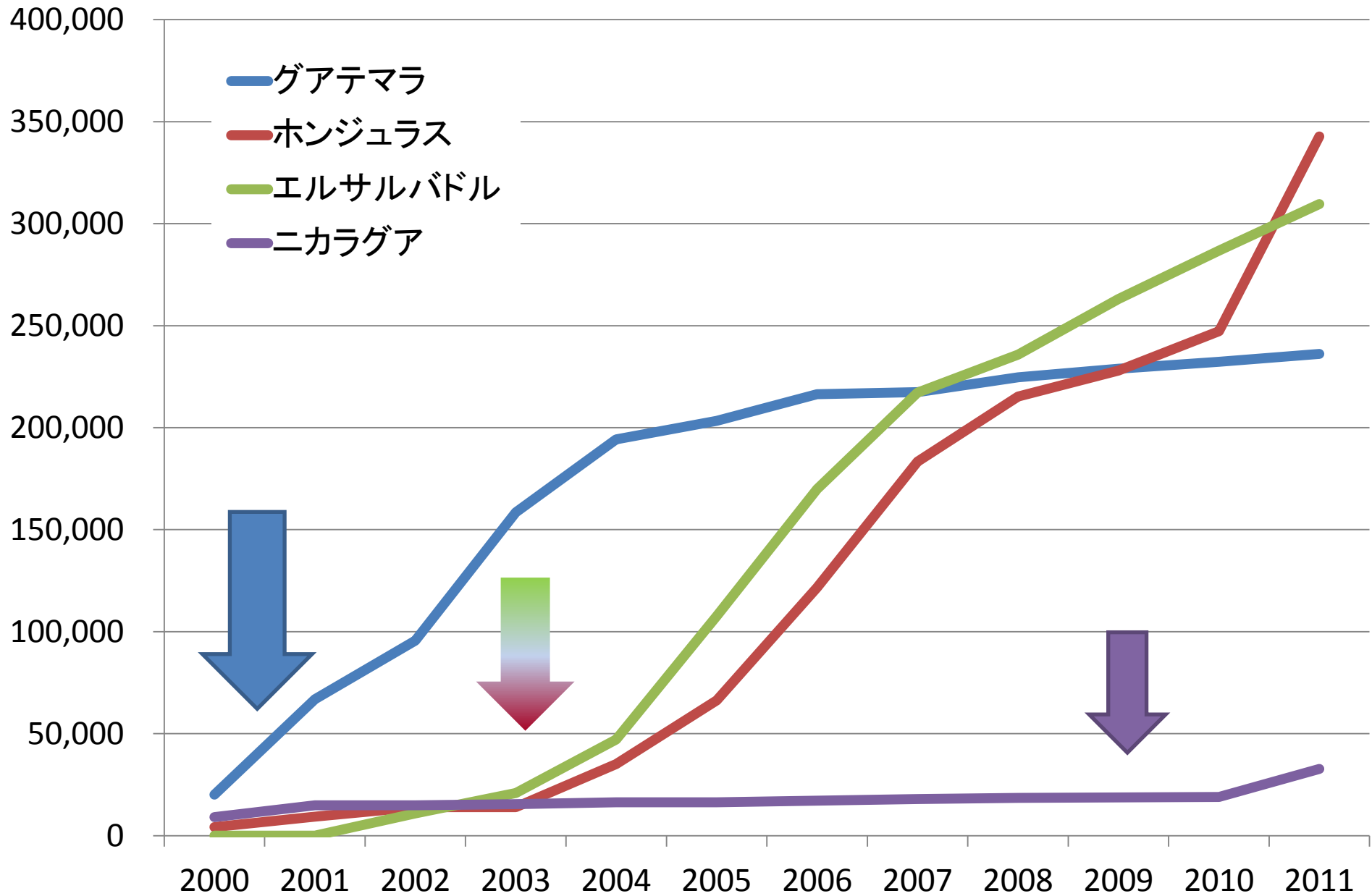


他のJICAの投入： 殺虫剤、散布器、車両、血清検査キット、研修、教材など

プロジェクトの展開



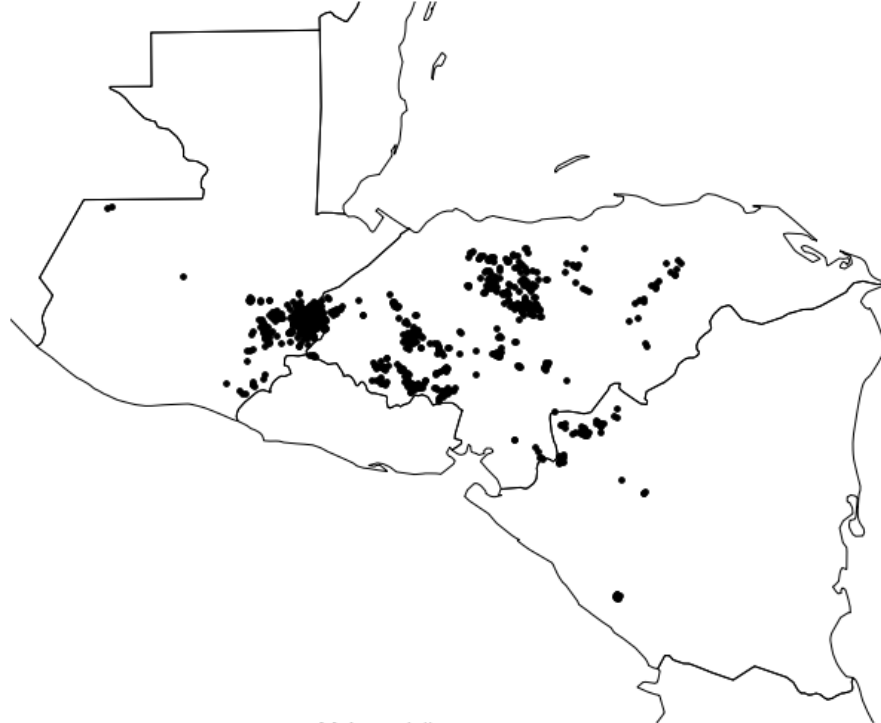
累計殺虫剤散布家屋数 2000-2011



サシガメ(*R.p*) の生息集落



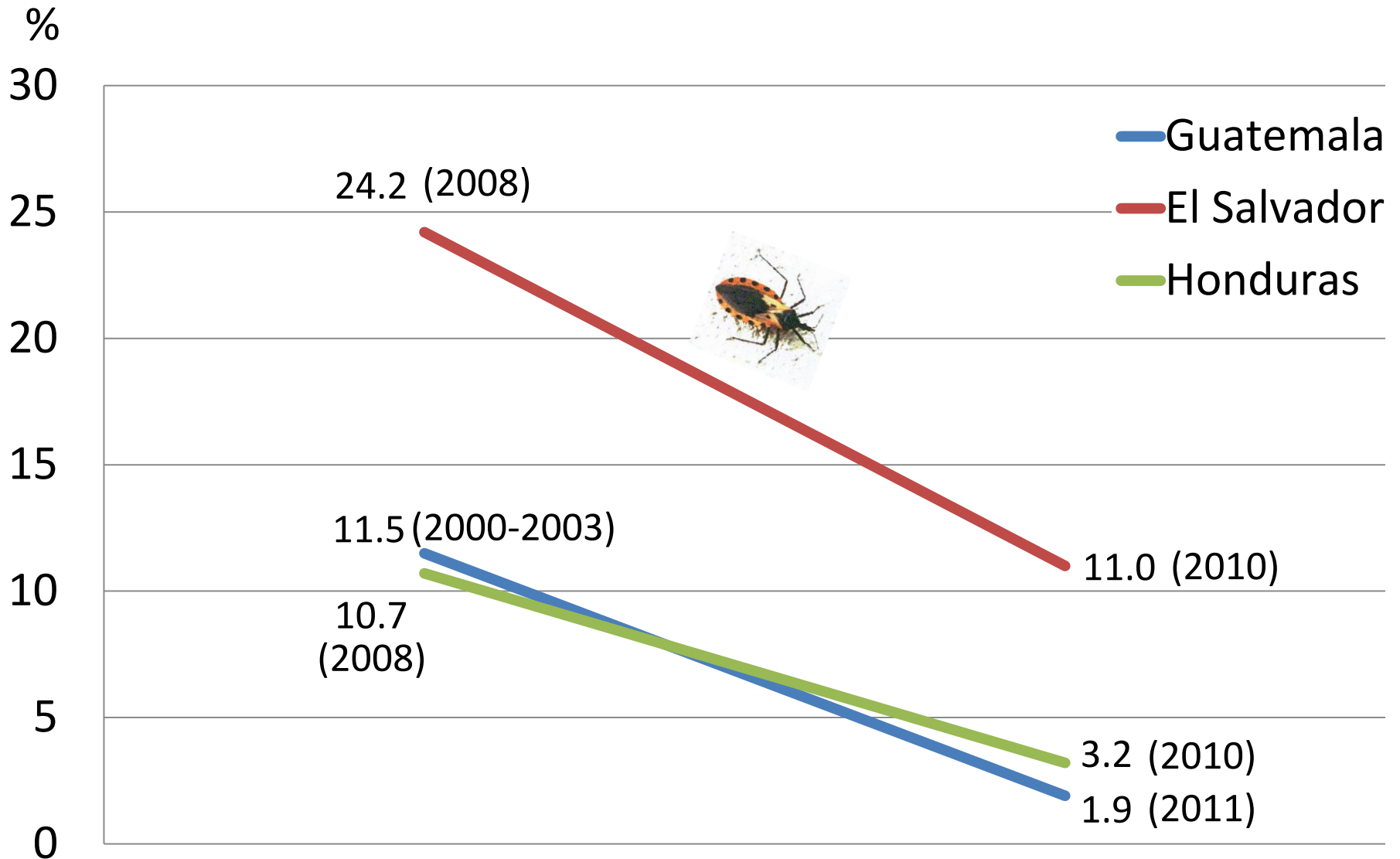
1997-2010



2010



サシガメ(*T.d.*)の生息家屋率



成果

- サシガメの減少と消滅

- *R. prolixus*種による感染の中断:



- グアテマラ(2008)、ホンジュラス(2011)、ニカラグア(2011)

- *R. prolixus*種の消滅:

- エルサルバドル(2010)

- *T. dimidiata*種の減少



- 中米の感染者数の減少(1990年代vs.2006年)

- 推定患者数: 1,77万人 → 81万人

- 年間新規感染者数: 6万2000人 → 9000人

ありがとうございました

